

**Q** 子宮がんについて教えてください。

**A** 子宮頸がんとは子宮体がんに分類(図1)されます。子宮頸がんの方が高頻度で発症し、国内では1日に7人の方が亡くなっています。

**Q** 子宮頸がんは、どんな病気ですか。

**A** 若い方に多く、前がん状態で発見可能で唯一、ワクチンで発生を予防できるがんです。

**Q** 「前がん」とは何ですか。

**A** 正常な細胞が、何らかの原因でがん細胞に変化します。がん細胞の判定基準は決まっています。「良性細胞」とは言い難く、悪性細胞ほど悪くもない細胞」が前がんです。正常細胞から前がんを経て、がん細胞になることが分かっています。

**Q** 前がん状態や初期の子宮頸がんには、何か症状はありますか。

**A** 無症状です。

**Q** 前がん状態は、どうしたら分かるのですか？

**A** 子宮頸がん検診で前がんや初期の子宮頸がんを発見することが可能ですが、当地域の低い検診受診率が問題(図2)です。

**Q** 「ヒトパピローマウイルス(HPV)」の感染が子宮頸がんの原因だ」と何かで見ましたが。

**A** その通りです。この研究の功績により、ドイツのツールハウゼン博士が2008年ノーベル医学・生理学賞を受賞しました。

**Q** HPVと子宮頸がんの関係について教えてください。

**A** HPVは、一度でも性交経験がある女性の子宮頸部のほとんどで確認されますが、多くは子宮から剥がれ落ちるため、子宮頸がんの発症に至る事はまれです。HPVは約130の型があり、そのうちがんと関係するのは16型と18型を主とした15種類であることが分かっています。

**Q** 子宮頸がん予防ワクチンについてよく耳にしますが。

**A** HPV16・18型の2種類の子宮頸部への感染を阻止するワクチン(サーバリックス注射)が開発されました。今までのワクチンと比較しても特に重い副作用は報告されていません。ワクチン接種により子宮頸がん死亡者数を約7割減らせます。



## 大曲仙北医師会

田口医院

田口 圭樹 院長

大仙市大曲福住町 2-5

☎ 0187-63-1380

**Q** いつ接種するのがいいのですか。

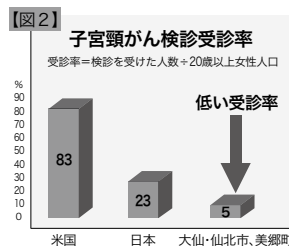
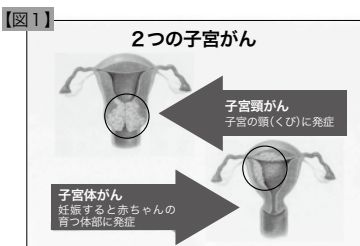
**A** 性交経験前(10歳から12歳)の接種が最も有効ですが、性交経験後の接種でも効果が確認されています。

**Q** 接種費用がかなり高額だと聞きますが？

**A** 保険適用外です。3回の接種が必要で、合計5万円弱と高額なため、自治体による公費負担が求められます。

**Q** 接種すれば子宮頸がんを100%予防できますか？

**A** いいえ。がんと関係するすべてのHPV感染を防げる訳ではありません。接種しても20歳になったら子宮頸がん検診を受けることが非常に大事です。



子宮がん検診を受診しましょう  
**子宮頸がんについて**  
*Talk about Cervical cancer*



Medical Chart no. **40**

Letter from Omagari-Senboku Medical Association  
 Master of HEALTHY.  
**健康の達人**  
 大曲仙北医師会からの便り  
 大曲仙北医師会ホームページ  
 パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>  
 携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/>